

今治市民会館

今治市民会館は、建築家である丹下健三氏が今治市のためにデザインした公共建造物3作品のうちの、3作目です。1965年に建てられた市民会館は、丹下氏の設計による今治市役所庁舎と今治公会堂がすでに立っていた場所に、後から追加された建物です。3つの建物がそれらの間に、市の真っただ中にある公共広場を形成しています。公会堂の真向かいに位置する今治市民会館は、会合やイベントなど柔軟に使える公共スペースです。

そこに立つ他の建物と同じく、今治市民会館も広場に面して開かれています。丹下氏の多くの作品と同様に、簡素で飾り気のないコンクリートが主な素材ですが、それは特に、張り出したコンクリート屋根に顕著です。しかしブルータリズム的なコンクリートの正面をもつ今治市公会堂とは異なり、今治市民会館にはもっとガラスが使われています。背の高い縦型のルーバー・ウィンドウが全体を占める2階が、1階にせり出しており、張り出した屋根と同調しています。1階の大きな窓が、建物の玄関を柔らかく少し控えめな印象にしています。

屋内は、今治市公会堂と同じく、ここでも磨き仕上げの木とコンクリートと緋色のハイライトが使われていますが、よりナチュラルな風合いにしてあります。コンクリートの支柱は木の梁のように筋や節が全体に施され、2階は、特徴的な窓が、磨かれた床の上に水のような波打つ反射光を作り出しています。